

2011年10月2日より

放射能の簡易測定業務、開始します！

よつ葉生協さんの全面的なご支援により、
簡易ベクレル計を導入することができました。
7月発注、9月27日入荷、このたび作動テストを無事終了し、
10月2日より放射能検査業務を開始いたします。
機器は、フランス製のMI1-BK-ERD 放射線ベクレル計。
検出下限値 25Bq/kg で、セシウム総量の測定です。
検査を希望される方は試料を採取し、別紙「放射能濃度分析依頼書」
をファックスにてご送付、コピーを同封してお送りください。
核種線量分析はできませんので、ご了承ください。

1 「大豆・ひまわり・菜の花プロジェクト」の、 除染効果を確認するための農作物や土壌のセシウム濃度検査

ひまわり・大豆・なたねなどの除染植物を栽培した圃場、雑草の繁茂した圃場、山林・道路などの植物や土壌に含まれるセシウム総量を測定し、汚染の状況と除染効果を確認する目的で測定します。下記の方法で採取、ご送付ください。

作物、雑草	土壌
①試料を約 1kg 採取する	①移植コテ（球根植え器、土堀くん）で、5 cm、10 cm、15 cmいずれかの深さで土を採取する
②1 日陰干しする	②よく混ぜ合わせる
③根と茎葉を 0.5～1 cm に細断し、実はそのまま	③ビニール袋に入れる
④ビニール袋に入れる	④試料番号、採取深さ、お名前を記入する
⑤試料番号、採取面積または株数、お名前を記入する	⑤送る
⑥送る	

2 栽培した農作物の放射能濃度が、 暫定基準値、自主基準値を下回っているかどうかを知るための検査

自家用または販売目的の、野菜・穀物・果物などに含まれるセシウム濃度を測定し、子供や不特定多数の消費者に販売してよいか、年齢制限や調理上の処理が必要かどうかなどの判断に役立てます。

暫定基準値は、国によって大幅に異なります（4項、表参照）。唯一の被害国であったウクライナやベラルーシがもっとも厳しい基準となっています。日本中が汚染された今、すべての農作物を測定しておく必要があります。かみのかわ有機農業推進協議会加盟団体や当研究所会員は割引料金となります。下記の方法で採取、送付してください。なお米の食味検査をあわせて申し込む場合は、同じ試料を使いますので、その旨お申し出ください。

農産物
①農作物の食べる部分だけを約 500g 採取する
②0.5～1 cm に細断する
③ビニール袋に入れる
④試料番号、お名前を記入する
⑤クール便で送る

3 農産物の販売先から、 放射能濃度検査を求められた場合の検査

販売先の方が、“検出下限値 2.5 Bq/kg、核種のうちセシウム 134、136、137 の合算値でも結構です”と言っている場合にのみ、お引き受けいたします。最も厳しい、ベラルーシ基準の範囲内かどうかの測定は可能です。検出下限値 10Bq との照合を行い、信頼性を高めた測定を行います。

4 試料の量目、検査料金と、各機関の暫定基準値

測定対象物	量目	包装	検査料金	セシウム 137 の暫定基準値					
				日本・EU	WHO	韓国	米国	ウクライナ	ベラルーシ
飲料水	200cc	プラスチックびん	会員 3,000 円	200Bq/L	10	370	1200	2	10
穀物 (米・麦・大豆など)	500g	500g 入り ビニール袋		500Bq/kg	10	370	1200	40	37(子供) 10(野菜)
野菜(果菜・根菜・葉菜)	500g								
果樹	500g	プラスチックびん	非会員 4,000 円	200 Bq/L		370	1200	2	10
加工食品	液体			200cc					
油脂作物	500g	500g 入り ビニール袋		-					
土壌 (5カ所 から採取)	畑			500g	NPO 法人民間稲作研究所の、田畑の除染目標値 2.5 Bq/kg 以下				
	水田	500g							

5 試料、ファックスの送付先

NPO 法人 民間稲作研究所
〒329-0526 栃木県河内郡上三川町鞆堂 7 2
TEL・FAX 0285-53-1133

この件に関するお問い合わせは、下記へお願い申し上げます。

NPO 法人 民間稲作研究所 代表 稲葉光國

Tel & Fax 0285-53-1133 携帯 090-3106-3211

E-mail inaba@inasaku.or.tv

受付月日	分析完了日
担当者	印

放射能濃度分析依頼書

ご依頼者情報

ご依頼者名	TEL/FAX	E-mail
団体・会社名	TEL/FAX	
ご住所	〒	
ご依頼日	希望納期 月 日	試料の処分 1 返却を希望 2 返却必要なし

※納期はご希望に添えない場合もあります。ご了承ください。

分析依頼の内容

分析目的							
1 個人またはグループの、農作物や土壌の放射能汚染の状態や除染効果を知るため 2 販売する農作物・加工食品などの放射能汚染が、暫定基準値や自主基準値を下回っていることを知るため 3 取引先に販売する商品に、放射能が含まれていないことを証明するため。 4 その他 ()							
分析依頼試料の概要							
1 農作物 (米・麦・大豆・油脂作物・野菜・果実・林産物)							
試料番号	採取月日	採取面積 または株数	作物名	品種名	採取圃場の所在地	地目	採取地の特徴 (土質・排水性など)
2 土壌							
試料番号	採取月日	地目	重量(g)	採取深度 (cm)	採取圃場の所在地	採取地の特徴	
3 農産物加工品および乳製品							
試料番号	採取月日	品名	採取地の空間放射線量率 (わかる範囲で結構です)			採取地の特徴	
分析依頼の項目 (必ずどちらかに、○をしてください)							
1 セシウム総量							
2 食味検査を兼ねる (食味検査料金 -1点につき- 研究所会員 3000 円、非会員 5000 円)							
その他、試料取扱い上の注意点(安全性、保管方法)など							